



いばらき県議会だより

茨城県議会 検索 <https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています

県議会携帯サイト <http://mobile.pref.ibaraki.jp/mobile/gikai/>

「いばキラTV」 <https://www.ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています

音声版「声の県議会だより」および「点字版県議会だより」も作成しています

発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

Tel.029-301-5646 [年4回発行]

No.210

迎春

2020年



令和元年第4回定例会の様子



茨城県議会議事堂



東京五輪・パラリンピックの 成功と希望溢れる茨城づくりを

茨城県議会議長 森田悦男

新年明けましておめでとうございます。昨年十二月の第四回定例会において、第十二代議長に就任いたしました。その職責の重大さに身の引き締まる思いであります。昨年五月に天皇陛下が即位され、まさに新しい「令和」の時代を迎えました。急速な人口減少や少子高齢化の進行、経済社会のグローバル化などの時代の変化に的確に対応し、新時代にふさわしい「新しい茨城づくり」に取り組んでいかなければなりません。

特に、本県人口が年に一万五千人も減少という非常事態の中、力強い産業の育成・創出や県土の均衡ある発展、さらには地域の特性を生かした本県の魅力向上に向けての政策などに優先して取り組む必要があります。また本年は、オリンピック・パラリンピックの開催もあり、茨城カシマスタジアムでのサッカー競技の成功はもとより、その開催の効果を県全体に広げていくことも大切です。希望に溢れた誇りある郷土いばらきを創り上げ、次代に引き継いでいくため、大井川県政と軌を一にしながらも、行政監視機能を遺憾なく発揮し、執行部と「車の両輪」として県議会一丸となり県勢発展に向けて誠心誠意取り組んでまいります。

正副議長就任あいさつ

郷土いばらきのさらなる発展を



茨城県議会副議長 伊沢勝徳

謹んで新春のお慶びを申し上げます。先の第四回定例会におきまして、第百十三代副議長に就任いたしました。職責の重大さを痛感するところでございます。さて、昨年の台風などにより、本県では甚大な被害が発生しました。被害に遭われた皆様に心からのお見舞いを申し上げます。被災された方々の心に寄り添い、一日も早い生活と生業の再建に取り組むとともに、災害に強い県土づくりを図る必要があります。また、少子化に歯止めがかからない中、本県の将来を担う子どもたちが、健やかに成長できる環境の整備も重要な課題であります。さらには、本県が「県民が日本一幸せな県」

となり、輝かしい未来を実現していくためには、県の総力を挙げて地方創生に取り組むとともに、県民総活躍社会を見据えた暮らしやすい環境整備を進め、県民の安全安心を確保し、本県発展に向けた施策の着実な推進を図る必要があります。これらの課題に的確に対応し、郷土いばらきのさらなる発展のためには、県議会において自由・闊達な議論が行われ、地域の声が県政に反映されることが何より重要であります。森田議長を補佐し、円滑な議会運営に努めてまいりますので、県民の皆様には、なお一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和元年十一月 臨時会を開催

令和元年十一月十九日に臨時会を開催しました。概要は、第二面をご覧ください。

第四回定例会の概要

令和元年第四回定例会は、十二月四日から十二月二十日まで十七日間の会期で開かれました。

議案は、議員から、茨城県いじめの根絶を目指す条例、茨城県主要農作物等種子条例など、知事から、令和元年度茨城県一般会計補正予算、水戸市の中核市指定に伴う関係条例の整備に関する条例などが提出されました。

一般質問は、二〇二〇年東京オリンピックに向けた警備対策、併設型中高一貫教育校における学校経営、「県民が日本一幸せな県」実現のための政策展開と予算編成の在り方などの項目について行われました。(三～四面)

各常任委員会では、付託議案の審査、県北地域に対する政策の底上げ、いばらき大使の活動などの検証、道の駅の防災拠点としての在り方、妊婦健診における公費負担の回数上限の見直し、国体・障スポのレガシーを生かした今後の取り組みなどが議論されました。(五面)

産業の育成・振興に関する調査特別委員会では、県内産業の育成・振興に関する諸方策の在り方について調査・検討を重ね、本会議で調査結果を報告しました。(六面)

決算特別委員会では、平成三十二年度決算の認定議案などについて審査が行われました。(六面)

今回の定例会では、予算、条例、人事、認定、意見書、請願などの三十七件の議案が可決、同意、認定、採択されました。

十一月臨時会 日程および概要

日程
令和元年11月19日(火)

- ・開会
- ・知事提出議案説明
- ・会派代表による質疑
- ・採決
- ・閉会

概要

令和元年十一月臨時会は、十一月十九日の一日間の日程で行われました。

議案は、議員から、台風による大雨等災害からの復旧復興対策に関する意見書、知事から、令和元年度茨城県一般会計補正予算などが提出されました。

代表質疑は、被災者の生活再建に向けた支援、被災中小企業への支援強化、被災者生活支援今後の防災・減災対策の取り組み、生活再建支援制度の拡充と災害救助法に基づく生活必需品などについて行われました。

今回の臨時会では、予算、報告、意見書の三件の議案が、可決、承認されました。

代表質疑者

- 伊沢 勝徳 (いばらき自民党)
- 齋藤 英彰 (県民フォーラム)
- 高崎 進 (公明党)
- 臼井 平八郎 (自民県政クラブ)
- 江尻 加那 (日本共産党)

議場での質疑の様子は、こちらから録画映像でご覧いただけます。



災害からの早期復旧復興に向けて 11月臨時会 代表質疑(要旨)



伊沢 勝徳 議員
いばらき自民党
土浦市選出
一括方式

被災者の生活再建に向けた支援

議員 台風第十九号により、住家が全壊、大規模半壊の被害を受けた方、さらに、住家の被害の大半を占める半壊以下の判定を受けた方々へ、今後どのように支援していくのか。

知事 公営住宅及び応急仮設住宅の提供や、半壊世帯に対する県独自の被災者生活再建支援、また、準半壊世帯にまで拡大した応急修理などの支援を速やかに提供し、一日も早く、全ての被災者の方々が、安心して生活できるよう、全力で取り組んでいく。

被災した中小企業への支援

議員 被災した県内の中小企業は三百を超え、事業の再建に向けて、さらなる支援が求められている。二重債務問題への対応を含め、今後どのように対応していくのか。

知事 事業継続に必要な施設改修などに対する補助や、緊急的な資金需要に対応した災害対策融資制度に加え、二重債務問題に対しては、補助制度の積極的な活用を促すなど、迅速かつ円滑な支援のため、被災中小企業支援の窓口を設置し、スピード感をもって支援に取り組んでいく。

(ほかに、公共土木施設の復旧、被災した農業用施設及び農業用機械への対応なども質疑)



齋藤 英彰 議員
県民フォーラム
日立市選出
一括方式

被災中小企業への支援強化

議員 建物や生産設備が浸水し、事業が再建できるか不安の声も聞かれる中、被災した中小企業やその経営者に対し、今後どのように支援していくのか。

知事 自治体連携補助金を活用し、被災額の範囲内で上限を設けず、事業再開や継続に必要な機械などの整備を支援していく。融資枠の確保と信用保証料の助成なども措置し、国や商工団体とも緊密に連携した相談体制を整備する。



高崎 進 議員
公明党
水戸市・城里町選出
一括方式

被災者生活支援

議員 被災者が一刻も早く平穏な生活を取り戻すため、県独自の被災者生活再建支援制度のさらなる拡充や、住宅応急修理制度の柔軟な対応が求められるが、所見は。

知事 半壊世帯への被災者生活再建支援の拡充など、国に制度改正を求める緊急要望を行ったほか、支援額の増額も強く働き掛けていく。応急修理については、市町村に弾力的運用を周知し、事務処理の軽減や速やかな住宅修理につなげるよう働き掛けたところである。

(ほかに、中小企業再建、被災農家支援、抜本的な河川改修なども質疑)



臼井 平八郎 議員
自民県政クラブ
結城市選出
一括方式

今後の防災・減災対策の取り組み

議員 大規模台風は今後も頻発が予想されるため、大規模台風を想定した十分な対策が必要だ。台風被害を教訓とし、今後の防災・減災対策にどう取り組むのか。

知事 大規模災害から県民の命を守るには、ハード対策に加え住民が適切な避難を行うためのソフト対策の充実が大変重要だ。本年度、災害発生時の危険度の高い地域の住民を対象に開催した、マイ・タイムライン^{※1}などを作成するワークショップ^{※2}の事業効果を早期に検証し、マイマップ^{※2}などの作成が進むよう市町村や住民を支援していく。



江尻 加那 議員
日本共産党
水戸市・城里町選出
一括方式

生活再建支援制度の拡充と災害救助法に基づく生活必需品

議員 半壊世帯への県独自支給額は二十五万円程度で置き置きであるため、被災者生活再建支援のさらなる拡充を求める。また、家財道具や家電製品全滅という実態を踏まえ、災害救助法に基づく生活必需品の品目や支援の改善が求められるが、所見は。

知事 今後とも、被災者生活再建支援制度の拡充を強く国に要望していく。また、災害救助法に基づく生活必需品給与の活用に向け、生活必需品リストを配布するなど、市町村と連携して取り組んでいく。

(ほかに、鉄道の災害対策強化、堤防整備と河川改修なども質疑)

令和元年十一月臨時会で可決された議案

- ◆議員提出
 - 台風による大雨等災害からの復旧復興対策に関する意見書
- ◆意見書
- ◆知事提出
 - 令和元年度補正予算関係
 - 一般会計予算
- ◆報告
 - 地方自治法第七十九条第一項の規定に基づく専決処分について

令和元年台風第十九号に係る御見舞金

(令和二年一月二十日現在)

左記の県議会から、本県へ御見舞金が寄贈されました。

- 千葉県議会、新潟県議会、兵庫県議会、鳥取県議会、岡山県議会、広島県議会、愛媛県議会、長崎県議会、大分県議会

茨城県議会災害対策会議

十一月十九日、川津隆議長の下、各会派を代表する議員が参集し、茨城県議会災害対策会議を開催しました。会議では、各常任委員会委員長から、台風第十九号被害の調査結果が報告されるところに、被害への対応策などについて協議を行いました。



台風第19号被害への対応策を協議する議員の様子

※1【マイ・タイムライン】…風水害の時に、個人が避難するために取るべき行動を時系列にまとめたもの。
※2【マイマップ】…地域の災害危険箇所や避難所などの避難先までの安全な経路などを住民自ら考え記載した地図。

第4回定例会の 主な日程

令和元年第4回定例会は、次の会期日程で開催されました。

- 12月4日(水) 本会 議 (開会、知事提出議案説明)
- 12月9日(月) 本会 議 (一般質問・質疑)
- 12月10日(火) 本会 議 (一般質問・質疑)
- 12月11日(水) 本会 議 (一般質問・質疑)
- 12月13日(金) 常任委員会
- 12月17日(火) 決算特別委員会
- 12月18日(水) 産業の育成・振興に関する調査特別委員会
- 12月20日(金) 本会 議 (委員長報告、採決、閉会)

一般質問(要旨)

●質問者
 12月9日(月) 田口 伸一 議員 (いばらき自民党)
 12月10日(火) 鈴木 定幸 議員 (いばらき自民党)
 12月11日(水) 塚本 一也 議員 (いばらき自民党)
 12月11日(水) 高安 博明 議員 (県民フォーラム)
 金子 晃久 議員 (いばらき自民党)
 西野 一也 議員 (いばらき自民党)

議場での質問の様子は、こちらから録画映像でご覧いただけます。

二〇二〇年東京オリンピックに向けた警備対策

議員 来年七月二十三日から、茨城カシマスタジアムでオリンピックのサッカー競技が開催される。テロやサイバー攻撃に対し、どのように警備対策に取り組むのか。

警察本部長 テロなどの対策に万全を期すため、関係機関や民間事業者などと連携した水際対策や警戒態勢の強化を図る。また、緊急事態に備え、合同訓練などで対処能力の向上に努める。さらに、対策に対する県民の理解と協力を得るため、積極的に情報発信する。



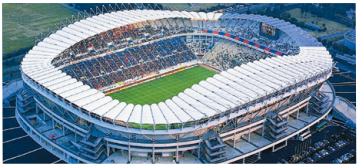
田口 伸一 議員
 いばらき自民党
 鹿嶋市選出
 方式

農業用ハウスの台風被害に対する支援と今後の災害対応

議員 台風第十五号などで被害を受けた農業用ハウスに対し、どのように支援するのか。また、災害の被害防止や事後対応について、農業者をどのように支援するのか。

農林水産部長 再建・修繕や撤去の費用について、市町村と協調し、国の補助に上乗せして支援する。また、事前の備えや被災後の対応を時系列にまとめたマニュアルを作成・周知し、現場で活用を図る。

(ほかに、鹿行地域の企業立地政策、県道銚田鹿嶋線の雨水対策なども質問)



オリンピックの成功に向け万全の警備対策を(サッカー競技会場の茨城カシマスタジアム)



本澤 徹 議員
 無所属
 銚田市・茨城町・大洗町選出
 一括方式

併設型中高一貫教育校における学校経営

議員 民間などでの管理職経験者も対象に中高一貫教育校の校長を公募するとしていたが、どのような学校経営を目指して実施するのか。

教育長 新たな発想に基づく新しい時代の学校経営を期待し、校長には、これまでのさまざまなキャリアで培ったマネジメントのノウハウを発揮いただきたいと考え、公募とした。公募により、社会の大きな変化に的確に対応できる学校経営を進め、将来を担うたくましい子どもたちの育成に努める。



来年度から併設型中高一貫教育校として開校する銚田第一高校

「県民が日本一幸せな県」実現のための政策展開と予算編成の在り方

議員 私は「県民の幸せ」とは、まずは県民の「安心安全」を守ることでありと考える。知事は、県総合計画の基本理念に掲げる「県民の幸せ」をどう考え、どう政策展開、予算編成を行うのか。

知事 私は県民が未来に希望を持ち挑戦を続けられることが「幸せ」だと考える。総合計画に掲げる四つのチャレンジを一体的に押し進め、新年度予算でも特別枠を設けた。一方、大規模災害対応では国と連動し安心安全の向上を図る。



村田 康成 議員
 いばらき自民党
 神栖市選出
 一括方式

神栖市における高校教育の課題と環境改善に向けた取り組み

議員 神栖市では、大学進学を目指す中学生ほど県外高校に進学している。今、市内三つの高校では教育環境や質の向上が必要と考える。高校教育の現状と課題をどう認識し、どう改善に取り組むのか。

教育長 神栖市から県外高校への進学状況は認識している。市内三校では合同学習会など学力向上にも取り組んでおり、進路実績を積み上げて地域の期待にこたえていく。

(ほかに、神栖済生会病院の医療提供体制の充実、鹿島臨海工業地帯のさらなる発展なども質問)



県総合計画の基本理念と4つのチャレンジ



鈴木 定幸 議員
 いばらき自民党
 常陸大宮市選出
 一括方式

自然災害と県内防災インフラ

議員 台風第十九号のような台風や豪雨に対抗するには、堤防や遊水地などの対策を複合的かつ迅速に整備する必要があります。自然災害から県民の生命と財産を守る防災インフラの強化にどう臨むのか。

知事 今回の被害の甚大さを目の当たりにし、自然災害への新たな対策が必要との思いを強くした。従来型の築堤や河道拡幅に加え、遊水地や排水施設整備などあらゆる対策を総合的に検討し、強靱な県土づくりに向け全力で取り組む。



台風第19号により氾濫した久慈川(常陸大宮市富岡地区)

食の安全性などに関する理解醸成

議員 遺伝子組み換え食品の表示ルールやプレハーベスト※3などの情報が知られていないように思う。消費者が、自らが望む安全・安心な食品を手にとれるよう、情報提供や理解醸成が必要だが、どう取り組むのか。

保健福祉部長 食品衛生協会など関係団体と連携し、各地域で講習会や意見交換会を開催している。SNSなども活用するなど、食の安全に関する正確な情報がより多くの県民に提供できるよう努める。

県立高校の活力と魅力向上

議員 友部高校はじめ公立高校の入学者が減少している。地域高校存続には、各学校の長所を生かし、活力と魅力のある学校に変える必要があるが、どう取り組むのか。

教育長 地域の「人財」を地域で育成することを役割の一つに位置付けた県立高等学校改革プランの理念や市町村の意見、各学校の取り組みを踏まえ、生徒一人一人の夢や希望をかなえる学校づくりへの取り組みを具体化する。

(ほかに、ひきこもり対策、笠間地域の道路行政なども質問)



県立高校の活力と魅力向上を

ことば ※3【プレハーベスト】…「収穫前」の意。一般的には、収穫前に農薬散布を行うことを指す。

一般質問(要旨)



議員 塚本 一也
いばらき自民党
つくば市選出
一括方式

本県が発展していくための
将来ビジョン

議員 つくばと水戸が相互補完しながら、二大都市圏として成長し、本県の屋台骨を支えてゆく姿こそ、本県が発展していくための理想像であると考えるが、所見は。

知事 水戸とつくばの二大都市圏が成長することは、本県の将来像を実現する上でも重要である。両市を結ぶ高速バスの増便実証運行を開始しており、県域全体の活性化のきっかけとしていきたい。今後も国内外から「選ばれる茨城」を目指し、全力で取り組む。

つくばエクスプレス八両化の
早期実現

議員 混雑緩和策のつくばエクスプレス八両化は、旅客サービスであり迅速な対応が求められる。鉄道会社への積極的な働き掛けが必要と考えるが、どう取り組むのか。

政策企画部長 鉄道会社からは、新たな技術や知見などを取り入れ、最大限努力していくと伺っている。県としても、さまざまな機会を通じて、鉄道会社に対し早期実現を強力に働き掛けていく。

(ほかに、特別支援学校の今後の教育環境の整備、青色防犯パトロール活動の推進なども質問)



TX8両化の早期実現を

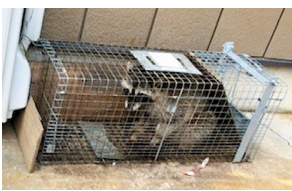


議員 金子 晃久
いばらき自民党
常総市・八千代町選出
分割方式

アライグマ対策

議員 生息範囲が拡大しているアライグマによる、人や農作物への被害が深刻化している。対症療法的に捕獲を続けるのではなく、目標を立てて対策を進める必要があると考えるが、どう取り組むのか。

県民生活環境部長 早期発見と捕獲のため、啓発活動を強化し、捕獲実績の少ない市町村に対応強化を働き掛けていく。次期防除実施計画では、県全域を対象に生息状況調査を実施し、捕獲目標の設定や効果的な防除方法を検討する。



人家近くで捕獲されたアライグマ

学校におけるICT化促進

議員 本県における学校現場での教育用コンピュータの整備状況は、他県に大きく遅れている。ICT教育先進県の実現に向けた、教育環境の整備をどう進めるのか。

教育長 小中学生に一人一台のコンピュータ整備が閣議決定された。県ではICT環境整備に関する国の動向や予算措置を注視しつつ、子どもたちの情報活用能力を育成し、力を最大限引き出す学びの実現を目指して取り組んでいく。

(ほかに、肥満対策、災害時の有料道路の無料措置なども質問)



議員 高安 博明
県民フォーラム
日立市選出
一括方式

交流人口拡大による県北振興

議員 急激な人口減少と高齢化が進展する県北地域の活性化には、魅力的なエリアを創出し交流人口の拡大が必要と考えるが、所見は。

知事 交流人口拡大のためサイクリングやロングトレイル^{※1}、ガストロノミー^{※2}など新しい滞在・体験型ツーリズムを複合的に進めている。また「アートビーチくじはま」など県北各市町の主体的な地域づくりの補助も手掛けている。今後とも地域資源を生かしながら賑わいと活力ある地域づくりに取り組む。

少子化解消への
結婚支援事業の取り組み

議員 国難とも言える少子化を背景に結婚支援の施策はさらに重要となる。変化する時代やニーズへの対応も含め、今後の取り組みは。

保健福祉部福祉担当部長 若い世代の方が結婚をポジティブに捉え、早いうちから婚活に参加していただくため、今後は、民間と連携した婚活のイメージアップや結婚支援者の育成強化、若者が利用しやすいマッチングシステムの導入などの施策を検討していく。

(ほかに、看護職員不足に対する取り組み、県北地域の農業振興なども質問)



魅力的なエリアの創出を
(快水浴場百選の伊師浜海岸)



議員 西野 一
いばらき自民党
常陸太田市・大子町選出
分割方式

MaaS^{※3}を核とした県北振興

議員 日立地域ではMaaSの実証実験が進められており、実現すればエコでシームレス^{※4}な地域社会を構築できる。MaaSにはさまざまな可能性を感じるが、県として今後どう取り組むのか。

知事 日立地域でのモデル事業の成果などを踏まえ、市町村や交通事業者に対して、新たな移動手段の導入と併せて、MaaSの導入を働き掛け、県北地域をはじめ県内各地域においてシームレスな移動環境づくりに取り組んでいく。

太田西山高校における
ライフスキル教育^{※5}

議員 自己肯定感を高めるライフスキル教育を高校の授業として組み込んでいるケースは全国でも先進的な取り組みである。太田西山高校におけるライフスキル教育推進のため、今後どう取り組むのか。

教育長 ライフスキル教育は、学校生活における好ましい人間関係づくりの一助となっている。生徒が主体的かつ積極的に社会参画していけるよう、太田西山高校の取り組みを今後も支援していく。

(ほかに、茨城空港の利活用の推進、住民の避難対策なども質問)



ライフスキル教育の授業の様子

今定例会で可決された議案

議員提出

- ◆条例の制定
 - 茨城県いじめの根絶を目指す条例
 - 茨城県主要農作物種子条例
- ◆意見書
 - 国土強靱化対策の更なる推進を求める意見書
 - 私学助成の拡充強化等に関する意見書

知事提出

- ◆令和元年度補正予算関係
 - 一般会計予算
- ◆条例の制定及び一部改正
 - 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
 - 水戸市の中核市指定に伴う関係条例の整備に関する条例
 - 茨城県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部を改正する条例
 - 社会福祉法に基づき無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例
 - 児童福祉法に基づき児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

- 就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づき幼保連携型認定こども園の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 児童福祉法に基づき児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 児童福祉法に基づき児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 児童福祉法に基づき児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

- ◆人事
 - 監査委員の選任について
- ◆その他
 - 平成三十一年度茨城県公営企業会計に係る利益の処分について
 - 当せん金付証券の発売について
 - 県有財産の売却処分について
 - 指定管理者の指定について

- ◆認定
 - 平成三十一年度茨城県公営企業会計決算の認定について
 - 平成三十一年度茨城県一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定について

- ◆請願
 - 令和二年度私立高等学校等経常費等助成に関する請願

※意見書・請願の全文はホームページでご覧いただけます。

常任委員会の審査から

営業戦略農林水産委員会

総務企画委員会

県北地域に対する政策の底上げを 住民ニーズを把握し部局横断的に取り組む

問 県内どこでも等しい教育や住民サービスを提供するのが県政の在り方。県北地域を取り残してはならない。その底上げが県北振興局、政策企画部の仕事と考えるが所見は。

答 県北振興局、政策企画部は、部局横断的な政策をまとめ、各部に投げ掛ける役目がある。住民のニーズをしっかりと把握して取り組む。

問 県庁舎のエレベーターで二重ブレイキの設置が進んでいない。命に関わる問題なので、早急に対処すべきだと考えるが所見は。

答 エレベーターの改修は、大規模になり複数年かかるた



県内どこでも等しい教育を (ICTを活用した授業の様子)

いばらき大使の活動などの検証は 活動内容の報告など制度の在り方を検討していく

問 いばらき大使について、無報酬とはいえ、選定の際の実績や任期中の活動の検証が必要と思われる。どのように行っていくのか。

答 活動内容や近況についての報告の機会や交流の場を設けるなど、互いにコミュニケーションをとることを含めて、制度の在り方を検討していく。

問 台風により、水稻の育苗ハウスなどの損壊が多数あった。育苗が始まる来春までに再建が間に合わない場合も想定されるが、どのように支援していくのか。

答 農家自らがハウスの施工



台風により損壊した水田

防災環境産業委員会

地区防災計画の作成をPRすべきでは 市町村や住民に働き掛けていく

問 災害に備え、住民が地区防災計画について議論、決定し、市町村地域防災計画に位置づけてもらうことが重要である。県からも当該計画の作成をPRすべきではないか。

答 地区防災計画は、住民と行政との連携や共助の点で有効な取り組みと認識している。さらなる普及を目指し、市町村や住民に働き掛けていく。

問 有害使用済機器の不適正保管事案ばかりでなく、不法投棄や処理業者の違法行為も含め、県は廃棄物などの適正な処理を確保するため、全体的に厳しく対応すべきでは。

答 産業廃棄物処理業者に対



災害への備えの充実を

土木企業委員会

道の駅の防災拠点としての在り方は 支援活動などを行う防災拠点として重点化していく

問 道の駅を新設するに当たり、防災拠点としての在り方を検証していく必要があると考えるが、所見は。

答 道の駅は敷地面積が広く、幹線道路にも面している。避難者だけでなく、緊急車両や物資も集まりやすいため、支援活動などの拠点として防災機能が重要視されている。今後は、防災拠点としても重点化していきたい。

問 国土強靱化は大変重要であり、「防災・減災、国土強靱化のための三か年緊急対策」終了後も推進していく必要があると考えるが、所見は。

答 全国的にみても三か年以



道の駅を防災拠点として重点化

保健福祉医療委員会

妊婦健診における公費負担の回数上限の見直しは 妊婦健診の回数増の必要性について市町村と検討していく

問 妊婦健診の公費負担は十四回までであるが、それを超える場合も支援できるよう回数の上限の見直しが必要と考える。県としてどう考えるか。

答 公費負担額については、全国平均を踏まえた見直しを市町村と検討している。一方、妊婦健診の回数増の必要性については、まずは妊娠四十週を超えた出産数を把握し、今後、市町村と検討していく。

問 県立中央病院と県立こども病棟の狭隘化が課題と考えるが、今年度の取り組みは。

答 県立中央病院では、医療機器などの配置場所が不足するICU(集中治療室)を改修



妊婦健診のさらなる充実を

文教警察委員会

国体・障スポのレガシーを生かした今後の取り組みは これまでの成果を基に、さまざまなことに取り組んでいく

問 茨城国体・全国障害者スポーツ大会のレガシーを生かして、ハード面やソフト面で、今後取り組んでいく予定はあるか。

答 競技力の向上はもちろんであるが、それ以上に県民が受けた熱い思いを引き継いでいきたい。今後も、これまでの成果を基に、さまざまなことに取り組んでいきたい。

問 大麻が若年層を中心にまん延するなど、薬物乱用が低年齢化している。県警では、未成年者に対する薬物抑止対策にどう取り組んでいるのか。

答 学校と連携し、児童生徒に対する薬物乱用防止教室を



茨城国体総合開会式の様子

産業の育成・振興に関する調査特別委員会

県土の均衡ある発展に向けた地域産業振興の取り組みなどについて提言

本委員会(山岡恒夫委員長)は、「県内産業の育成・振興に関する諸方策の在り方」について調査・検討を重ね、第四回定例会最終日に調査結果を報告しました。調査は、県執行部から各種取り組みの現状・課題などについて説明を聴取したほか、国や事業者の方から直接意見を伺い、さらには群馬県での現地調査を行うなど、精力的に活動してきました。



報告を行う山岡恒夫委員長

※報告書の全文はホームページでご覧になれます。

茨城県議会 ICT化検討会議

本検討会議(白田信夫座長)では、議会のICT化について調査検討を進めてきました。

最終回となる第五回会議(十二月四日開催)では、議長への答申の内容が決定され、同日、白田座長から川津議長に答申書が手渡されました。

答申では、議会審議の充実や議会運営の効率化・活性化を図るため、令和二年第二回定例会を目的に、タブレット端末を導入することとされました。

※答申の全文はホームページでご覧になれます。



川津隆議長(左から5人目)に答申書を手渡す白田信夫座長(右から7人目)

決算特別委員会

決算特別委員会(西野一委員長)は、令和元年第二回定例会で設置され、第三回定例会で付託された平成三十年度決算の認定議案などについて、部局ごとの部門別審査と全部局を対象とした総括審査を実施するため、計七回の委員会を開催しました。

審査の結果、予算の執行および決算は、その内容を適正なものと認め、原案を認定および可決すべきものと決定しました。

国体・障害者スポーツ大会推進協議会

本推進協議会(川津隆会長)は、茨城国体、全国障害者スポーツ大会の成功に向け、県議会としての取り組みなどを協議してきました。最終回となる第三回協議会(十二月十日開催)では、両大会に関わった選手やボランティアの皆様に、ご意見や所感を述べていただきました。

県議会では、選手や県民の皆様の思いを受け止め、両大会の成果を本県の発展につなげていくべく、なお一層の取り組みを進めてまいります。



国体・障害者スポーツ大会推進協議会の様子

議員提案により二件の政策条例を制定

議員提案により「茨城県いじめの根絶を目指す条例」及び「茨城県主要農作物等種子条例」を制定しました。いずれの条例も、令和二年四月一日から施行されます。

茨城県いじめの根絶を目指す条例の特徴は、社会総がかりで、いじめの問題の克服を目指し、児童生徒間のいじめに加えて、教員や地域社会におけるいじめも含めて、取り組むところにあります。

茨城県主要農作物等種子条例の特徴は、種子の生産は、県民の理解を得つつ、需要が見込まれる安全な農作物の安定的な供給に資することを旨として行うところにあります。

本県の議員提案による政策条例は、今回の二条例で十八件目となります。県議会では今後とも、政策立案に取り組んでまいります。

※両条例の全文はホームページでご覧になれます。



条例の提案説明を行う伊沢勝徳議員

特別委員会などの新人事

予算特別委員会

予算特別委員会は、県の予算を総合的に検討し、予算審査の一体性を確保するために設置される委員会です。

- 委員長 福地 源一郎
- 副委員長 加藤 明良
- 委員 海野 透
- 白田 信夫
- 村上 典男
- 鈴木 定幸
- 下路 健次郎
- 鈴木 伸一
- 中村 修
- 田口 将
- 水柿 一俊
- 谷島 洋司
- 坂本 隆司
- 石塚 隼人
- 齋藤 英彰
- 遠藤 実
- 田村 けい子
- 白井 平八郎
- 山中 たい子
- 玉造 順一
- 外塚 潔
- 中村 はやと

情報委員会

情報委員会は、県議会情報公開条例に基づき、公文書の開示決定などに対する不服申立てや議会広報の充実についての調査などを行う委員会です。

- 委員長 西野 一
- 副委員長 長谷川 重幸
- 委員 星田 弘司
- 岡田 拓也
- 金子 晃久
- 沼田 和利
- 村田 康成
- 二川 英俊
- 村本 修司
- 川口 政弥

監査委員

県民代表の立場から適切な県予算の執行などについて、監査を行います。

- 山岡 恒夫
- 館 静馬

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会運営の円滑化を図るため、議会の運営に関する事項などについて協議するために設置される委員会です。

- 委員長 石井 邦一
- 副委員長 島田 幸三
- 委員 葉梨 衛
- 小川 一成
- 常井 洋治
- 戸井田 和之
- 加藤 明良
- 長谷川 重幸
- 齋藤 英彰
- 高崎 進

永年在職議員表彰

十二月四日に茨城県議会の永年在職議員表彰が行われました。表彰を受けた議員は、次のとおりです。

- 二十年在職 小川 一成 議員
- 十年在職 村上 典男 議員

議会人事

十一月三日に安藤真理子議員(土浦市選出)が退職されました。

令和二年

各会派基本方針

いばらき自民党



いばらき自民党
議員会長
葉梨 衛

「失敗は成功のもと」 胸に刻みながら

新時代「令和」最初の正月を迎えられ、県民の皆様には希望に満ちた一年となるよう祈念しております。とりわけ台風第十九号で亡くなられた方のご冥福をお祈り致しますとともに、被災された方々が一日も早く元の生活を取り戻すことができるよう願っております。

重要政策項目に「国土強靱化の推進」を新たに柱立てした「令和二年度いばらき自民党重要政策大綱」を取りまとめ、知事に提出しました。総項目数は新規八十一件、一部修正百件を含む二千六百二十一件となりました。

今日、わが国は未曾有の人口減少・超高齢社会という困難な状況に直面しています。本県も例外ではなく、我々は重要政策大綱をバイブルとして、所属議員四十一人が未来への希望を見出すため、失敗を恐れず、昨年議員提案による政策条例を二本制定したように、引き続き政策立案機能を発揮していくことが大切と確認し合ったところです。

県民フォーラム



県民フォーラム
代表
齋藤 英彰

共生社会の実現をめざす

昨年は、相次ぐ台風により本県も甚大な被害を受け、改めてお亡くなりになった方々にお悔やみを申し上げますとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。

むよう要請しました。

被災者の皆様が一日でも早く元の生活に戻れるよう、また災害に対する備えなど安全・安心な地域づくりにも尽力してまいります。

本県は、急激な人口減少と少子高齢化により、大きく社会構造に変化が生じるなどの転換期であることから、新たな視点で政策を進めることが重要になります。茨城県総合計画にある施策を推進しながら、茨城の持つポテンシャルを最大限活かして、行財政改革、労働環境の整備、地域医療の充実、産業の活性化、子育て支援の整備等に取り組んでまいります。

引き続き、すべての県民の皆様と連携し地域主権を旗印に、生活者や働く者の立場に立ち、県民の皆様が安心して暮らせる共生社会の実現をめざしてまいります。

公明党



公明党
議員会長
茨城代表
高崎 進

より安心な暮らしへ 強靱な地域づくり

昨年の台風などによる災害でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害を受けられた皆様へ、心からお見舞いを申し上げます。今年も復旧・復興に向けて、最大限の取り組みを続けてまいります。

は、防災・減災を政治の主流にし、より安心な暮らしへ、強靱な地域づくりに取り組んでまいります。

自民県政クラブ



自民県政クラブ
代表
白井 平八郎

県民目線で 茨城づくりに取り組む

昨年の台風第十九号をはじめとした豪雨・暴風により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害を受けられた皆様へ、心からお見舞いを申し上げます。

地球温暖化などの影響により、昨年のような大規模台風は今後も頻発することが予想されるため、今後は大規模台風を想定した十分な対策を講じる必要

要があります。我々自民県政クラブは、被災地の早期復旧・復興に取り組むとともに、災害に強い茨城づくりのため、防災・減災対策の推進に努めてまいります。

また、我が会派では、人口減少社会において次世代を担う子供たちのために何を残していくべきかを考え、未来への責任を果たすとともに、県民の皆様の生活を第一に、安定した雇用の確保や医師不足問題の解消、介護人材の確保、多文化共生社会の実現やグローバル社会で活躍する人財育成の推進などに力を注いでまいりたいと考えております。

自民県政クラブは、今後とも県民目線で県勢発展に向けて全力で取り組んでまいりますので、本年もご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

日本共産党



日本共産党
産議
共議長
本城
日茨議員団
山中 たい子

東海第二原発の廃炉、 暮らし第一の県政へ

命と生活を守ることは県政の最優先課題です。とくに、昨年は未曾有の台風等により甚大な被害に見舞われ、避難に重要な氾濫発生情報や氾濫危険情報が出されず、被害を深刻化させました。耐水堤防の整備、河道掘削など河川改修に必要な予算を集中すべきです。あわせて国県市町村の人員不足の解消が課題です。温暖化対策に

正面から取り組むことは急務です。政府は、十三兆円もの経済対策を決定する一方で、消費税10%を強行しました。しかし、最良の景気対策は消費税をまず、五%に減税することです。

原発の直下地震が全国最多、古く危険な東海第二原発は廃炉しかありません。再稼働ストップへ力を合わせましょう。

今年も市民と野党の共同を広げ、憲法をまもり暮らし第一の政治と個人の尊厳、多様性を尊重する社会をめざします。希望ある政治への道を切り拓きましょう。

常任委員会の構成

令和元年12月20日選任

定数62人
(現員61人)

◎印は委員長／○印は副委員長

丸数字は当選回数 ()内は所属党派

総務企画委員会

 ◎村上 典男 ⁴ (いばらき自民党)	 ○星田 弘司 ³ (いばらき自民党)	 飯塚 秋男 ⁷ (いばらき自民党)	
 福地源一郎 ⁵ (いばらき自民党)	 戸井田和之 ⁴ (いばらき自民党)	 石井 邦一 ⁴ (いばらき自民党)	 村田 康成 ¹ (いばらき自民党)
 石塚 隼人 ¹ (いばらき自民党)	 設楽詠美子 ³ (県民フォーラム)	 玉造 順一 ¹ (立憲民主党)	 藤島 正孝 ⁶ (無所属)

総務企画委員会は、11人で、税財政、市町村振興、交通体系整備、地域振興、情報化などに関することを調査、審査します。

防災環境産業委員会

 ◎下路健次郎 ³ (いばらき自民党)	 ○長谷川重幸 ² (いばらき自民党)	 白田 信夫 ⁷ (いばらき自民党)	
 常井 洋治 ⁶ (いばらき自民党)	 西野 一 ⁴ (いばらき自民党)	 坂本 隆司 ¹ (いばらき自民党)	 二川 英俊 ² (県民フォーラム)
 田村けい子 ⁴ (公明党)	 江尻 加那 ² (日本共産党)	 中村はやと ¹ (無所属)	

防災環境産業委員会は、10人で、消防防災、文化振興、環境保全、中小企業育成、産業立地、労働などに関することを調査、審査します。

保健福祉医療委員会

 ◎中村 修 ³ (いばらき自民党)	 ○磯崎 達也 ² (いばらき自民党)	 細谷 典幸 ⁷ (いばらき自民党)	
 舘 静馬 ⁴ (いばらき自民党)	 谷島 洋司 ¹ (いばらき自民党)	 沼田 和利 ¹ (いばらき自民党)	 遠藤 実 ² (県民フォーラム)
 飯田 智男 ³ (自民県政クラブ)	 山中たい子 ⁴ (日本共産党)	 豊田 茂 ¹ (無所属)	

保健福祉医療委員会は、11人(現員10人)で、保健、福祉、医療などに関することを調査、審査します。

営業戦略農林水産委員会

 ◎田口 伸一 ³ (いばらき自民党)	 ○水柿 一俊 ² (いばらき自民党)	 葉梨 衛 ⁸ (いばらき自民党)	
 小川 一成 ⁷ (いばらき自民党)	 川津 隆 ⁶ (いばらき自民党)	 萩原 勇 ⁴ (いばらき自民党)	 塚本 一也 ¹ (いばらき自民党)
 高安 博明 ¹ (県民フォーラム)	 八島 功男 ³ (公明党)	 外塚 潔 ³ (無所属)	

営業戦略農林水産委員会は、10人で、企業誘致、観光、県産品販路拡大、農林水産業などに関することを調査、審査します。

土木企業委員会

 ◎鈴木 将 ³ (いばらき自民党)	 ○金子 晃久 ² (いばらき自民党)	 海野 透 ⁹ (いばらき自民党)	
 西條 昌良 ⁸ (いばらき自民党)	 森田 悦男 ⁶ (いばらき自民党)	 島田 幸三 ³ (いばらき自民党)	 加藤 明良 ³ (いばらき自民党)
 村本 修司 ¹ (公明党)	 本澤 徹 ⁵ (無所属)	 川口 政弥 ³ (無所属)	

土木企業委員会は、10人で、道路、河川、港湾、住宅、公園、下水道や工業用水道事業などに関することを調査、審査します。

文教警察委員会

 ◎鈴木 定幸 ³ (いばらき自民党)	 ○高橋 勝則 ² (いばらき自民党)	 半村 登 ⁷ (いばらき自民党)	
 山岡 恒夫 ⁶ (いばらき自民党)	 伊沢 勝徳 ⁵ (いばらき自民党)	 岡田 拓也 ³ (いばらき自民党)	 山野井 浩 ¹ (いばらき自民党)
 齋藤 英彰 ³ (県民フォーラム)	 高崎 進 ⁴ (公明党)	 白井平八郎 ⁷ (自民県政クラブ)	

文教警察委員会は、10人で、学校教育、社会教育、芸術・文化、警察などに関することを調査、審査します。